



## タイコ エレクトロニクス

### 顧客情報

様々な製品とサービスを提供するグローバル企業

### 業種

電子部品製造

### IT 環境

5 か所のデータセンターが業務をサポートし、ネットワークには 41,000 台の Windows 端末が接続（サーバー約 2,000 台、ノート PC 13,000 台、ワークステーション 26,000 台）

### 課題

内部ネットワークのセキュリティを強化し、SOX 404 コンプライアンス対応の負荷を軽減する。

### マカフィーのソリューション

McAfee Total Protection (ToPS) for Endpoint Advanced、McAfee Total Protection (ToPS) for Data

### 導入結果

- 内部セキュリティを強化
- ウイルス、ワーム、スパイウェアなどの脅威からノートブックとデスクトップを保護
- マルウェアのアウトブレイクに迅速に対応
- ラップトップ PC のデータを保護
- パッチの適用とポリシーの変更作業を簡素化

## 包括的なソリューションとして McAfee ToPS と ePO を採用したタイコ エレクトロニクス

タイコ エレクトロニクスは、電子部品、ネットワーク ソリューション、無線システム、海底通信システムを提供する世界的な企業です。同社は、自動車、データ通信、家電、航空宇宙、防衛、船舶、医療、代替エネルギー、公衆通信など様々な業種の企業に製品を提供しています。

タイコ エレクトロニクスは、15 年前にデスクトップ用ウイルス対策としてマカフィーのウイルス対策とスパイウェア対策を導入し、その後、すべてのノートブックに McAfee Host Intrusion Prevention (Host IPS) を配備しました。デスクトップへの Host IPS の導入を検討し始めた頃、セキュリティ担当シニア ディレクターの Dennis Rayfield 氏は McAfee Total Protection (ToPS) for Endpoint Advanced へのアップグレードを決めました。

Rayfield 氏は次のように述べています。「ノートブックに Host IPS を導入していたので、当初はデスクトップにも Host IPS を配備しようと思っていました。しかし、Host IPS の追加ライセンスと ToPS へのアップグレードで費用がほぼ同じで、NAC（ネットワーク アクセス制御）などの機能はほとんどコストがかからなかったため、アップグレードに決めました。」

### 境界とエンドポイントを保護するネットワーク セキュリティ

Rayfield 氏によると、Host IPS の配備は多大な効果をもたらしました。同氏は「他の企業と同じように、我が社でもネットワーク境界に強固なセキュリティ対策を実装しており、これをユーザーの端末にも展開したいと考えていました。エンドポイント セキュリティを実施する上で、Host IPS は非常に重要な役割を担っています」と述べています。

タイコ エレクトロニクスには 41,000 台のエンドポイントがあり、従業員が社内のネットワークに接続するたびに、大量のウイルスやスパイウェアに感染する可能性がありました。Host IPS の導入により、同社はアウトブレイクに迅速に対処できるようになりました。また、通信会社のブロードバンド通信カードを装備したラップトップのリスクも軽減されています。「Host IPS を実装することで、ノート PC が社外のネットワークに接続する場合においても、セキュリティリスクが軽減できます」と Rayfield 氏は述べています。

### グローバルでの統合管理

タイコ エレクトロニクスは、ソフトウェアの配備と更新を一元管理し、インシデント管理プロセスを標準化しています。

「プロセスを標準化しているので、マルウェアが大量に発生しても迅速に対処できます。マカフィーのソリューションも一元管理されているので、古くなった製品や DAT ファイルをすぐに確認し、対応できます」と Rayfield 氏は述べています。

タイコ エレクトロニクスは、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) 2007 と McAfee ePolicy Orchestrator® (ePO™) を使用して設備の一元管理を行っています。コンピュータ セキュリティを専門とするシニア ビジネスアナリストの Howard Bullock 氏は次のように述べています。「我が社では、四半期に一回、マカフィー製品を含む設備済みのアプリケーションの監査を行っています。これは SCCM で行っていますが、マカフィー製品のパッチ適用とエージェントの配備は ePO で行っています。SCCM での配備エラーがあっても、ePO で最新の状態を維持することが可能です。」

タイコ エレクトロニクスで ePO 3.6 から 4.0 に移行したときに、Bullock 氏は ePO の使用制限を緩和しました。「3.6 では、ビジネス要件でポリシーの変更が必要にならない限り、コンソールへのアクセスを許可しませんでした。ポリシーの調整や作成はすべて自分のチーム内で行っていました。しかし、ePO 4.0 でダッシュボード機能が利用できるようになったので、ローカルの管理者や管理チームに使用権限を委譲し始めています」と同氏は述べています。

#### 次の課題：情報漏えい防止

タイコ エレクトロニクスでは、McAfee Total Protection (ToPS) for Data のコンポーネントである Host Data Loss Prevention (Host DLP) の必要性も検討しています。Bullock 氏も指摘しているように、包括的なリスクマネジメントを行う上で DLP は重要な要素となりますが、利用制限を設定する段階では混乱が生じる可能性があります。「導入しているマカフィー製品で情報漏えい防止を実施したいと考えていますが、厳しすぎる条件を設定するとユーザーの利便性に影響を与えかねません。この課題を解決するため、McAfee Endpoint Encryption を導入しました」と Bullock 氏は述べています。

Endpoint Encryption は、システムのパフォーマンスに影響を及ぼさずにディスク全体、ファイル、フォルダを暗号化できます。タイコ エレクトロニクスは現在、実稼働環境にエンドポイント暗号化を配備し、約 500 台のラップトップを保護しています。同社では、年末までに残りの 12,500 台のラップトップに対しても暗号化の配備を完了する予定です。「データを暗号化した

ら、厳密なポリシーが必要かどうか検証します。つまり、デバイス上のデータが暗号化されている場合、USB ドライブやノート PC に対するデータのコピーに厳格なルールを適用する必要があるかどうかを確認します。セキュリティルールに苦しむようでは困ります。Host DLP のポリシーは、HTTP 経由の電子メールで送信される添付ファイルには非常に有効だと思います。」と Bullock 氏は述べています。

「マカフィーのソリューションは自己管理型で、基本的に管理者は何も行う必要はありません。管理作業は大幅に軽減されます。小規模なウイルス発生であれば、一つのアクセス保護ルールで対処できます。3 時間以内にクライアントの状況は収まり、サンプルを検出している間にアウトブレイクも収束します。マカフィーの製品に非常に満足しています。配備サイクルでも非常に効果がありました」と Bullock 氏は述べています。

大量発生が起きてもアクセス保護ルールで対処できます。3 時間以内にクライアントの状況は収まり、サンプルを検出している間にアウトブレイクも収束します。

タイコ エレクトロニクス  
コンピュータ セキュリティ担当  
シニア ビジネス アナリスト  
Howard Bullock



マカフィー株式会社  
www.mcafee.com/jp

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1  
渋谷マークシティウエスト 20F  
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480  
名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-20-17  
中外東京海上ビルディング 3F  
TEL 052-954-9551 (代) FAX 052-954-9552  
西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2  
近鉄堂島ビル 18F  
TEL 06-6344-1511 (代) FAX 06-6344-1517  
福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8  
アクア博多 5F  
TEL 092-287-9674 (代) FAX 092-287-9675

McAfee またはその他の商標は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。McAfee ブランドの製品は赤を基調としています。本書中のその他の登録商標および商標はそれぞれその所有者に帰属します。  
© 2011 McAfee, Inc. All rights reserved.  
5139cs\_tyco-electronics\_0509